

令和6年度 陵南中学校 学校評価

学校名

加古川市立陵南中学校

1 教育目標

こころ豊かに、自ら考え、行動する生徒の育成 ～生徒に寄り添い、対話を重視する教育の実践から、生徒・教職員のウェルビーイングの向上をめざして～

2 基本方針

- ・自ら学ぶ意欲、態度を育てる学習指導
- ・生きる力を育む教育の推進
- ・特別支援教育の充実
- ・教職員の指導力と資質の向上
- ・道徳・人権教育の充実
- ・生徒理解に基づく生徒指導
- ・地域とともにある学校づくりの推進

3 指導目標

1. 自他の命を大切に、こころと身体を鍛え、健康で元気に生活する生徒の育成
2. 個別最適な学びと協働的な学びの充実を通して、確かな学力を育む授業実践
3. 道徳・人権教育を基盤に、一人ひとりが認められ大切にされる教育活動の推進
4. 学校運営協議会及び学校園連携ユニットの活用による地域とともにある学校づくりの推進
5. 学校組織力及び教職員の資質能力の向上

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
1. 学習指導の充実	基礎・基本の確実な定着 ICTの効果的な活用 主体的学習態度の育成	C	授業中に興味がわく場面を、計画的に取り入れる。授業でのICT活用方法などの情報交換や授業見学などをする。	これからの時代を生きていくにはICT活用は不可欠であるので、しっかりスキルを身につけてほしい。	A
2. 生徒理解に基づく生徒指導	生徒に寄り添う指導と信頼関係の確立 望ましい生活習慣の確立と規範意識の高揚	B	SNSトラブル防止講座を保護者や生徒を対象に実施する。学級経営の指導技術や関係資料をシェアできる環境を構築する。	これからの時代にSNSトラブルは避けて通れない。トラブルの現状についてしっかり学ぶ機会を確保してほしい。	A
3. 道徳・人権教育の充実	心に響く道徳教育の充実 一人ひとりを大切に、互いに認め合う人権教育の拡充	B	指導案検討会や研修等を通してより教員の人権感覚を向上させる。良い所を認め合うような機会をつくる。	社会では人とコミュニケーションを図っていくことが強く求められる。人を思いやる気持ちをしっかり身につけてほしい。	A
4. 生きる力を育む教育の推進	防災教育等、危機管理意識の高揚 キャリア教育の充実	B	防災グッズの製作など、より具体的な体験活動を実施する。様々な職業の方の話を実際に聞く機会を設ける。	有事の際に体育館が避難場所になることからそれを踏まえた学習も実施してほしい。	A
5. 研修活動の充実	実践的指導力向上のための研究と修養に励む	B	校内研究授業だけでなく、普段の授業から気軽に見学し、研鑽しあう体制の構築を図る。	授業を見合ったり実践を聞いたりすることは大切であり、さらにはそれを踏まえて実践することがとても大切である。研修のさらなる充実を期待する。	A
6. 仕事と生活	業務改善への取り組み	B	教員一人一人が見通しをもって業務を遂行する能力の育成をめざし、定時退勤日の確実な実施や働きかけを継続する。	遅くまで業務にあたっておられ頭が下がる。ICTをうまく活用し、業務改善を進めてほしい。	A